



静岡県市長会長賞

## 私の大切な家ぞく

三年 仁木葵椰

「カイマノー！ただいまー！」  
家に帰ると私はねこの名前を大きな声でよびます。

去年の夏休み、車の中でしゃべっていたら、お父さんが

「家がよこれてしまうからねこはかわないよ。」

と言いました。私はとても悲しくて泣いてしまいました。ペットショップを見に行ったり、ねこカフェに行ったりしていつかは私もねこを飼いたいなど思っていたからです。

お母さんがそれを見ていて、外食の帰り道近所のペットショップに連れて行ってくれました。お店の人が、まだ小さくてお店に出せない子ねこがいると見せてくれました。かわいい三匹の子ねこでした。かわないと言っていたお父さんも子ねこをだいてにこにこしていました。お母さんが聞くとお父さんは

「かわいいねえ。」

と言いました。

「これはチャンスだ！。」

と私は思いました。

次の日お兄ちゃんを連れて行ったら、私たちがほしいと思ったねこじゃない子をほしいと言いました。

私たちは話し合って私とお父さんとお母さんがほしい子をむかえることになりました。まだ小さいので、あと1ヶ月はお母さんとはなれる練習をしないとダメです。その間に、何度も会いに行きました。お兄ちゃんが、もう1匹をあきらめられないとずっと言っていました。

その様子を見ていたお母さんが色々調べて

「ねこは2匹でいると安心して過ごせるんだって。初めてねこをかうからそれもいいね。」

と言いました、私は

「またチャンスだ！」

と思えました。なんと、2匹ともおむかえすることになりました。

何日も家ぞくで考えて名前は、カイル、マノアに決めました。

2匹が来てから、私の人生はかわりました。人生がゆたかになり、キラキラした毎日になりました。学校から帰ると2匹が待っています。いやなことがあった時、ふわふわした体をさわってぎゅうっただしめると安心します。一人でさみしい時も、2匹がいればこわい気持ちちがやわらぎます。

2匹をむかえて一年。家ぞくがねこを見て笑うきっかけになることがふえました。2匹が遊んでいるとかわいくてわらい、かわいいいしぐさをするとはほえみます。もともと楽しい家ぞくだけど、もっと楽しくなりました。ねこのさわり方でお兄ちゃんと言いかいになることもあるけど、それでもねこがいるから家ぞくもつと明るくなりました。

これからもねこを大切に、私たちが明るくくらしたいです。

ありがとう、カイマノー！